

声

業界の



● 山梨県地質調査事業協同組合

理事長 萩原利樹氏

業界の現況は？

当業界では、温泉や地下水の掘削などのボーリング工事と土木工事に先立つ地質調査などを行っています。また、組合では先進地視察、技術研修会、安全パトロールと業界の技術力アップに積極的に取り組んでいます。今では市町村による温泉掘削もほぼ一巡したため、現在は温泉井戸のメンテナンスなどが重要な業務の一つになっていきます。温泉は地下水に様々な成分等が混ざり合ったもので、それぞれ個性があります。そのため、優良な温泉を維持していくためには、それぞれの泉質にあったメンテナンスを行う必要があります。しかし、このことはあまり知られてはいないので、お客様にこのメンテナンスの重要性を理解してもらうことに努めています。

今後の動向は？

建設業界に限らず、目先の利益を求めて競争するという風潮が目につきます。自社の利益だけを優先するのではなく、仕事を通して地域社会に貢献し、それが結果として会社や業界の安定と発展に繋がっていくような取り組みの環をつなげていくことが必要だと思います。

狭い山梨を成長させていくためには、これからは一つの業界や企業だけが「自分さえ良ければ」ということではなく、各社が長期的ビジョンを持ち、少しでも良いものを生み出していく努力の中で、社会全体で次世代の人材や企業を育成し、人材も企業も成長していく「みんなで良くなっていく」といった考え方が必要になってくると思います。

中央会に望むことは？

中央会は様々な業界団体を会員としているメリットを活かし、各業界から収集した情報の共有の場を作りたい。ただき、一社だけではできない事業展開や業界団体間の連携を更に強化してもらいたいと思います。それができるのは中央会だけだと期待しています。



砂防ダムの地盤調査